

# 電算NEWS INNOVATION

イノベーション(革新)は、電算システムの社是のうちの一語です。

平成30年  
11月19日号 **Vol. 146**

編集・発行

株式会社 電算システム 総務部広報チーム 担当：安藤 晶子  
岐阜市日置江1丁目58番地 (058) 279-3456



▲竣工式テープカット(2018年10月23日)

## 東濃BPOセンター 竣工式(当社事業の原点であり イノベーションの種)

当社は、かねてより土岐市の工業団地「土岐アクアシルヴア」に建設を進めておりました「東濃BPOセンター」の工事が終了し、2018年10月23日竣工式を執り行いました。当日には、ご来賓に土岐市副市長 加藤淳司様、十六銀行取締役副頭取 池田直樹様、土岐郵便局長 筒井政夫様他をお迎えし、テープカットを行い完成を祝しました。宮地会長より「BPOの業務は私どもの原点。お客様の満足度を高めていき、データセンターとの相乗効果により、土岐を知の拠点に業容を拡大していきたい」と挨拶がありました。

BPOセンターは鉄骨二階建て延べ二五〇四平方メートル、総投資額は三億円。

ギフトの申込書のデータ入力や納品書の印刷、決済サービス、コールセンター、

商品発送といった業務を請け負い、企業の業務プロセスの一部を専門的な技術、ノウハウにより安全・確実に処理いたします。これまでの人を中心からデジタル化、自動化、省力化により、ハイレベルな業務効率化や生産性向上が可能になりました。特に作業はRPA(ロボット)による業務自動化)で効率的で高品質なサービスを幅広い業務分野に提供いたします。

今後の見通しとして、BPOのマーケットは大きくはないものの、人手不足やデジタル化の影響で市場拡大の方向にあり、競争相手が少なく、発想を変えれば大きなビジネスになります。同事業には一定の規模と設備が必要で、投資も必要となりますが、作業現場そのものが商品となるものと捉えています。

# 東濃(土岐アクアシルヴァ)から

(東海環状自動車道 五斗時スマートICから5分)

## 新たなイノベーションを起こす!!

10/  
23<sup>火</sup>

## 次世代の東濃BPOセンター稼働!



▲全体イメージ図



▲立地良好でアクセス網も充実

東濃地域の東海環状自動車道沿線は、そのアクセスの良さと津波被害のない内陸部であることから、県外大手企業の工場の新設や増設の動きが相次いでおります。又、今後西回りルートの開通により、中京圏の広域ネットワークが構築され、企業活動の向上、物流の効率

**当社BPOの  
活性化を  
目指して**

化、観光活性化等様々なストック効果が見込まれ、地域経済の発展が期待されております。当社もその事由から2013年11月より最新のモジュール型データセンターとして、東濃データセンターを土岐市に構築してクラウドサービスを開始いたしました。現在、同センターでは、当初設備が満床に近づいており、今後増設を予定しております。2018年3月には、先端技術開発センターを東濃データセンター内に開設し、その技術・機能をベースに同センターを利用した次世代サービスへの対応も可能としました。今般、2020年10月に東濃BPOセンターを新設し、効率的で高品質なBPO(デジタルを活用したビジネス・プロセス・アウトソーシング)サービスの提供が可能になりました。今後は、AI、IoT、ロボットなどの次世代技術を取り入れ、次世代のサービスの提供により、お客様の満足度を高め、事業の更なる拡大に努めてまいりたいと考えております。

一方、東濃BPOセンターでは女性が働きやすい環境作りを目指しており、IT託児所の設置も検討しております。



▲BPOサービス概要

創業50年にわたる豊富な知識と経験 | 課題にあったベストソリューションを提供 | 圧倒的なコンサルティング力

例えば、産直通販事業のバックオフィスのBPOの

### 同センターの位置付け

場合、岐阜本社で

- ① 申込書(もしくははそのイメージデータ)を入力(データエントリ)し、
- ② 不備不明をコールセンターで問い合わせせて、申込みデータを作成します。
- ③ そのデータを商品提供企業、商品単位に分類集計し、発注データを作成して、
- ④ 商品提供企業に通知すると同時に配送伝票の印刷用データを作成し、
- ⑤ 東濃BPOセンターに送ります。

# 東濃BPOセンターの業務

### 設備の特長

関連帳票です。

### ①セキュリティ

社員証を兼ねたIDカードで入退管理、制限は当然のこと、作業室内は私物持ち込み禁止とし、死角が無いように監視カメラを配置して監視画像は録画して3ヶ月間保存します。ネットワークは個別の業務用LANを構築し、社内でも他部署と分離している他、インターネットへのアクセスも全て監視・制限しています。

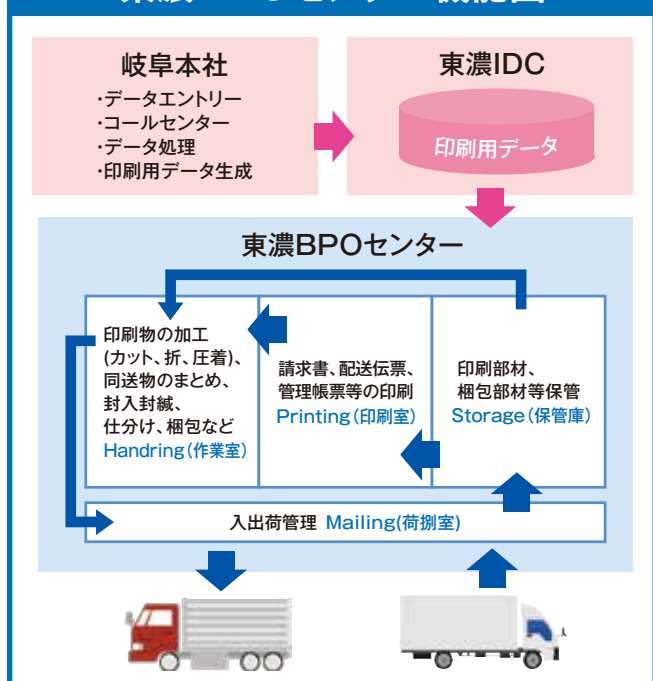
### ②ファシリティ

印刷機は発熱量が大きいこと、紙は湿度に敏感であることから、温湿度管理が正確にでき、かつ強力な空調設備を備えています。また、当地はコバエの大量発生など虫の飛来が課題であることから、窓は全てF I X窓にして外気を遮断し、外と接する荷捌室は気圧を上げて隙間風を外向きにし、虫の侵入を防いでいます。

### ③稼働の見える化

I O T 技術を導入して設

## 東濃BPOセンター機能図



### ④大量入出荷対応

大量の入集荷に耐えられる荷捌室を設け、荷物用エレベーターも配備しました。プラットフォームには大きな庇も付けましたので雨の日

### ⑤社員に優しい

大きな窓を配置したラウンジ(休憩室)を用意しました。一定時間、集中して仕事をしたらラウンジで外を見て目と心を癒せば、活力が復活します。また、作業場所は飲食禁止ですので、昼休みは従業員の憩いの場となります。

# スマホアプリを利用した 決済サービス拡大

〈PAYSLE〉  
〈LINE Pay〉  
〈PayB〉

当社はこれまで、様々な形でスマートフォンを利用した決済サービスに取り組み、来ています。一つは電子バーコードをスマートフォン画面に表示し、コンビニエンスストア店舗のPOSで読み取り決済するPAYSLEサービス。もう一つは通常のコンビニ収納代行サービスで使っている払込票に印字されたバーコードをスマホアプリで読み取り、その場でコンビニへ行くことなしで決済するアプリ決済サービスです。バーコードをアプリで表示するか、アプリで読み取るかの違いはありますが、今や国民の生活に広く浸透しているスマートフォンを核としたサービスを積極的に決済サービスへ展開しています。

## PAYSLEアプリ

PAYSLEサービスの

取扱いは、昨年9月にミニストップ、セイコーマートで開始したのをかわきりに、2018年7月にはローソンでも取扱いを開始し、取扱い可能なコンビニを拡大してきました。



▲PAYSLE支払いイメージ

セブンイレブン開始。  
コンビニA割で取扱いが可能に

PAYSLEサービスの普及には取扱コンビニの拡大は重要です。2018年12月中旬にはセブンイレブンでも取扱開始の予定で、

同社が加わることで、全国でPAYSLEが取扱えるコンビニ店舗は全体の7割となります。これによって、ますますPAYSLEサービスが生活者にとって身近で便利な決済サービスになるものと期待しています。

コンビニ収納サービスを取扱う他の各社は、株式会社しんきん情報サービスは2018年度中、株式会社ファミリーマート、株式会社ポプラ、国分グループサーズチェーン株式会社は2019年度中、山崎製パン株式会社は2020年3月までのPAYSLEサービス取扱い開始を目指し検討中です。

## 払込票を使ったアプリ 決済サービスへの展開

当社は昨年7月にアプリに登録した口座から支払いができる「PayB」を開始し、2018年4月にはLINEアプリ上で展開する「LINE Pay」からの「LINE Pay 請求書支払い」サービスを加え、現在は、2つのアプリ決済サービスを提供しております。

どちらのアプリ決済サービスも、生活者にすでに馴染みのある払込票に印字され

たバーコードをスマホのアプリで読み取り、アプリが提供する決済方法で支払いが完了するサービスです。いつでもどこでもスマートフォンと払込票があればお支払をすることができま

## 大阪市様(税)、 東北電力様が採用

大阪市様では、昨年12月に「PayB」を、続く、2018年12月中旬には「LINE Pay 請求書支払い」利用開始など、それぞれ2つのアプリ決済サービスにおいて全国で初めて税金の収納にご導入をいただくことになりました。また、東北電力様は同年10月末に電気料金の支払いに「LINE Pay 請求書支払い」のご導入を頂くなど、通販業界に留まらず地公体からも問い合わせが当社に寄せられており、スマートフォン の普及を背景に払込票を使ったアプリ決済の関心の高さを改めて実感させられました。

## その次のアプリへ

一方で現在も各種決済手段を開発しているアプリ提供会社からは、当社払込票

の取扱いを可能にしたという問い合わせも数多く寄せられており、当社として今後も他のアプリ提供会社と連携した決済サービスメニューの追加の予定をしております。



▲〈スマホアプリ決済サービスの流れ〉